

モニタリング結果報告書 (令和4年度)

1. 施設概要

施設名	スポーツ会館		
所在地	横浜市神奈川区三ツ沢西町3番1号		
サイトURL	http://www.sports-kanagawa.com/works/kaikan.php		
根拠条例	神奈川県立スポーツ会館条例		
設置目的(設置時期)	スポーツ会館の振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため(昭和43年1月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県スポーツ協会		
指定期間	R2.4.1 ~ R7.3.31 (2020年) (2025年)	施設所管課 (事務所)	スポーツ課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p> <p>県民のスポーツ振興の拠点施設となることを目的とした運営方針に則り、提案に基づく開館日の拡大や体育館の一般開放及び多目的室の個人利用の実施、魅力あるプログラムを提供したスポーツ&カルチャー教室を展開した結果、利用者の満足度評価がS評価となった。また、受付時の接客対応もS評価となる大きな要因であった。</p> <p>利用状況及び収支状況は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、利用人数の制限を行ったことが影響し、共に評価はB評価であった。また、原油価格・物価価格の高騰も影響したことの大きな要因である。2項目でB評価であったため、令和4年度の3項目評価はA評価とした。</p> <p>今後については、より地域に根差した施設運営を目指すとともに、小学校や自治会・町内会との連携も今一層積極的に図っていききたい。さらに、SNSを活用した、タイムリーな空室情報などの発信を今後も展開していき、スポーツ振興並びに未病改善に取り組んでいく。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づき、開館日の拡大や体育館の一般開放及び多目的室の個人利用の実施、魅力あるプログラムを提供したスポーツ&カルチャー教室を実施し、利用者の拡大を図った。 維持管理業務は、体育館、多目的室、会議室の利用者の怪我や事故防止を図るため、備品等の日常点検を行いベストコンディションを保つことはもちろんのこと、適切な指導やサポートを実施した。利用者が安全かつ安心して利用できる環境整備に注力するなど、常に利用者目線に立った施設運営を行い、事業計画書の内容どおりの取組を実施した。</p> <p>◆利用状況 利用者数は目標達成率90.9%だったため、B評価となった。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、利用者数の制限を行ったにもかかわらず15,908人増、対前年度比240.1%であった。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じながらの運営で利用者にはご不便をおかけしたが、利用者とのコミュニケーションを密にした結果トラブルや事故等もなかった。今後も、安全・安心で気持ちよい施設の利用ができるように努め、利用促進を図っていききたい。そして、ホームページ等で、スポーツ会館の魅力あるプログラムの周知を図っていくとともに、SNSや自治会・町内会と連携した広報を行い、利用者数の増加につなげたい。</p> <p>◆利用者の満足度 9月と3月に実施し、上位2段階の回答割合が97.2%だったため、S評価となった。回収率は、日頃から利用者とのコミュニケーションを積極的に図り、また、アンケートの協力の呼び掛けに努めた結果、95.0%となった。</p> <p>◆収支状況 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を講じながらの運営であったが、通常通り開館できたため収入はほぼ計画通りであった一方で、支出は原油価格・物価価格の高騰の影響で計画より増加することとなった。今後も、令和4年度から取り組んでいるSNSを活用したタイムリーな空室情報などの発信を継続していく。なお、支出については、一層の経費節減に努めたい。</p>

- ◆苦情・要望等
設備・備品の経年劣化による故障や修理の苦情や要望はあったが、丁寧な説明等を行い対応した。
- ◆事故・不祥事等
日常の施設点検業務を着実にを行い、安全な施設運営に努めた結果、事故や大きな怪我は発生しなかった。
- ◆労働環境の確保に係る取組状況
県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はなかった。
- ◆その他
令和4年度は、ほぼ計画通りに事業計画を実行することができた。令和5年度は事業計画に掲げた取組を滞りなく実行していき、スポーツ振興及び未病改善に取り組んでいきたい。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	B	S	B	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	随時現場確認を実施 (2か月に1回程度)	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	随時意見交換を実施 (月1回程度)	県と指定管理者との間で意見交換を実施し、コロナ禍における施設の管理運営上の課題等を情報共有した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有	指導・改善勧告等の内容
	無	

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
施設の維持・管理について	経年劣化による故障・修理の必要な箇所が増えているため、日常の施設点検業務を着実にを行い、安全な施設運営に努めた。	細かな点検を着実に実施しており、引き続き安全な施設運営に努めていただきたい。
年末年始、施設点検日（原則月1回）を除く、原則無休による開館日の拡大 ※条例に定める休館日：月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土・日・休日を除く）、年末年始	提案に基づき、休館は施設点検日及び年末年始のみとし、年間の利用可能日を41日増やし開館日を342日とした。	開館日の増加により、利用者サービスの向上に繋がっている。引き続き利用者サービスの向上に努めていただきたい。
体育館の一般開放及び多目的室の個人利用の実施	提案に基づき、国民の祝日の15日間を体育館の一般開放とした。また、毎週火曜日、木曜日、日曜日を多目的室の個人利用とした。	提案書に従って利用促進に取り組んでいる。引き続き、サービスの充実に努めていただきたい。
外部諸機関との連携	スポーツ教室を県内競技団体等の協力を得て実施した。	県内競技団体等と良好な関係を築いている。引き続き、良好な連携に努めていただきたい。
人材育成（職員育成・研修）	利用者サービスの向上に資するため各種研修を実施した。 第1回 令和4年6月16日 県スポーツ課からの「救急蘇生法の指針2020」の改訂の連絡に基づき、職員各自で机上研修を実施した。 第2回 令和4年7月16日 一般社団法人神奈川県聴覚障害者連盟からデフリンピアンである早瀬久美氏を招き、「はじめての手話体験会」を施設利用者等とともに受講した。 第3回 令和4年11月12日 神奈川県消防署片倉消防出張所の所長を講師に招き、「まさか！！のための救命講習会」を施設利用者等とともに受講した。	今後も職員を対象とした研修を継続的に実施し、利用者サービスの向上に努めていただきたい。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
スポーツ&カルチャー教室の開催	<p>幼児・ジュニアこどものスポーツ活動の推進ー（キッズバスケットボール教室、親子バスケットボール教室、キッズダンス教室）計113人</p> <p>社会人・高齢者等ースポーツを通じた未病改善に向けた取組ー（トレーニング教室、硬式卓球教室、ラージ卓球教室、太極拳教室、ナイトヨガ教室、ヘルシーヨガ教室）計229人</p> <p>障がい者ー障がい者のスポーツ活動への支援ー県障がい者スポーツ協会との協働（障がい者スポーツ教室）計7名</p> <p>グローバル社会で活躍する人材の育成（国際大会等のボランティア育成支援）（小学生英語教室、英会話教室）計69人</p> <p>社会人・高齢者等ーカルチャー活動を通じた未病改善に向けた取組ー（美文字教室、顔ヨガ教室）計49人</p>
生涯スポーツ研修セミナー	手話体験会、救急法講習会 計38名
スポーツ指導者等への研修会	トレーナー研修会、スポーツ指導者研修会 計48名
健康体力相談事業（大学連携）	健康体力アップ教室、ロコモチェック・骨密度測定会 計63名

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特徴から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
B	

	前々年度	前年度	令和4年度
利用者数※	8,901	11,352	27,260
対前年度比		127.5%	240.1%
目標値	47,000	30,000	30,000
目標達成率	18.9%	37.8%	90.9%

目標値の設定根拠： 過去数年間の利用者数を参考に算定し、指定管理者と協議の上、決定

利用者数の算出方法（対象）： 団体は利用報告書に人数を記載
一般開放、個人利用は利用申込書で人数を確認

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響と対応状況】

（※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、各室場の利用人数の制限を行った関係で、研修会・講習会や大人数で行う会議利用等がキャンセルとなった。

②令和4年度の対応状況

新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止で利用制限を行ったが、対前年度比では240.1%となった。研修会・講習会や大人数で行う会議利用等がキャンセルとなったが、地域で活動されているサークルでは少しずつ通常化したものと考えられる。また、当日の空室情報をSNSで積極的に発信した。

7. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	年間2回 9月と3月に調査を実施。	受付時の職員の接客対応の良さと設備・備品で地下空調やバレーボールの支柱を更新したことにより、感謝の言葉が多数寄せられた。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 施設管理に対する満足度について該当する印象に○をつけてください。

実施した調査の配布方法 窓口での配架・利用者
者に直接配布 回収数/配布数 377 / 397 = 95.0%

配布(サンプル)対象 令和4年9月1日～10月14日及び令和5年2月1日～3月15日の施設利用者及び教室参加者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	133	225	9	1	368	
回答率	36.1%	61.1%	2.4%	0.3%		
前年度の回答数	44	67	5	0	116	
前年度回答率	37.9%	57.8%	4.3%			
回答率の対前年度比	95%	106%	57%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響と対応状況】
 (※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未 満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に 15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	18,362	2,651			21,013	21,013	0	
	決算	24,946	721			25,667	28,273	-2,606	90.78%
前年度	当初予算	18,362	2,651			21,013	21,362	-349	
	決算	18,940	944	462	自販機電気代	20,346	21,688	-1,342	93.81%
令和4年度	当初予算	18,541	2,651			21,192	21,192	0	
	決算	18,680	2,505	610	自販機電気代	21,795	24,752	-2,957	88.05%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和4年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響

地域で活動されているサークルでは少しずつ通常化してきており、体育館の収入はコロナ禍前よりも増えている。しかし、利用人数の制限や密になりやすい関係で多目的室や会議室では利用する団体はコロナ禍前よりも大幅に減っている。また、原油価格・物価価格の高騰により、支出も当初計画よりも増えたことで、収支比率が88.05%となった。

②令和4年度の対応状況

新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止で利用制限を行った関係で、お断りをする団体も多数あった。しかし、少しでも地域の方がスポーツ会館に来ていただけるように、小学校や自治会・町内会、ホームページ、SNSで広報を積極的に行った。

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。